

性教育全体計画

久松小学校

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校教育目標
 「強く」 **心身ともに健康**で、自律と自立のための強い意志と向上心を持ち、自らよりよい成長を目指す。
 「正しく」ものごとを正しく見つめ、正しい判断と行動のできる**主体性**を身に付ける。
 「豊かに」**豊かな心情**や創造性を高める。**互いに尊重し合い、思いやりをの心**を持ち、共生社会の担い手となる。

【児童の実態】
 自己肯定感が低く、思いやりの気持ちをもって人と接する態度が高学年になるにつれて十分でない。
【教師の願い】
 自分のよさや友達のよさを認め、命を大切にす態度を高めてほしい。自分の役割に責任を持ち、人の役に立つ喜びを感じてほしい。

性教育の目標
 (1) 男性または女性としての自己の認識を確かにする。
 (2) 「人間尊重」「男女平等等の精神」に基づく豊かな男女の人間関係を築くことができるようにする。
 (3) 家庭や様々な社会集団の一員として直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てる。

久松小学校の重点目標
 ○自分の性を認識し、**自己肯定感を高め、互いのよさや立場を尊重し合う心情を育み、思いやりの気持ちを持ち協力して**生活する態度を育成する。
 ○生命の尊さを感じ、**自他の命を大切にす態度や、生きることへの意欲**を高める。
 ○家庭や学校の一員として、**仕事や役割に責任をもって行動**したり、**人の役に立つ喜び**を感じたりする心を育てる。

自己の性自認			男女の人間関係	家庭や社会の一員として
生命	身体的側面	精神的側面		
<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さ ・自他の成長 ・生きることの喜び 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の体 ・思春期 ・異性への興味関心 	<ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情 ・自己肯定感 ・心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の別なく相互理解、協力 ・異性との関わり ・対人関係のスキル ・効果的な意思伝達 ・自己表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の役に立つことの喜び ・家族との信頼、協力 ・性役割感 ・偏見や差別の払拭

	自己の性自認			男女の人間関係	家庭や社会の一員として
	生命	身体的側面	精神的側面		
低学年	[生活] わたしの成長 [道徳] 生きることの喜び [学級活動] あかちゃんがうまれる	[学級活動] 男の子・女の子 ・大切な体 清潔なからだ	[全教育活動を通して] 肯定的な自己像 (自己肯定感)	[道徳] 友達と仲よくし、助け合う [学級活動] ・望ましい人間関係の育成(言語活動)	[生活] 家庭を支えている家族 [道徳] 家族の役に立つ喜び [学級活動] 健康で安全な生活 自分の身を守ろう [道徳] 家族との協力、他者への信頼・協力
中学年	[道徳] 生命の尊さ	[体育] 育ちゆく体とわたし (初経・精通) (思春期・異性への関心)	[全教育活動を通して] ・自尊感情 ・自己肯定感	[道徳] 相手に対する思いやり [学級活動] ・相互の信頼、尊敬、親愛、協力(相互理解) ・様々な人間関係の経験(対人関係のスキル・言語活動)	[道徳] 家族との協力、他者への信頼・協力
高学年	[理科] 生命の誕生・連続性 [道徳] 自他の生命の尊重	[理科] 動物の発生・成長・生命 人の発生・成長・生命	[体育] 心の健康 [道徳] 男女間の友情 [学級活動] 心身共に健康で安全な生活態度の形成 [中学への保健体育へのつながり] 性衝動への対処	[道徳] 異性に対する正しい理解、男女間の友情 [体育] 心の健康、発達 [学級活動] 望ましい人間関係の育成(効果的な意思伝達・自己表現・言語活動)	[道徳] 性役割感 [社会] 権利と義務の行使 [体育] 病気の起こり方、エイズという病気、偏見や差別の払拭 [学級活動] 情報とわたしたちの生活